

あいち学び未来応援プラン2027 (第3期愛知県生涯学習推進計画)

～自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会～

概要版

2023年度～2027年度



第1章 生涯学習推進計画の基本的な考え方

① 生涯学び続け「なりたい自分になる」「社会の形成者になる」

人生100年という未曾有の時代を迎える中、社会経済環境は大きく変化し、私たちは様々な課題に直面しています。

その中で私たちがそれぞれの目指す「なりたい自分になる」ためには、語り合い、学び合うこと＝生涯を通して学び続けることが重要となります。

一方で、私たちは社会の一員でもあり、その責任を果たしていくためにも、学びで得た知識や経験を社会に還元していかなければなりません。社会に参加し、担う人間、いわば「社会の形成者になる」ということは、その人の生きがいや、やりがいに大きな力を与えてくれます。

学び、実践し、目指す姿を実現できる自分になる。一人一人が学びを通して得た知識や経験を活用し、ともに考え、支え合い、一人では乗り越えられない課題も乗り越えていくことで、持続可能でよりよい未来が実現されます。

② 「生涯学習」と「社会教育」

この生涯学習推進計画では、多様化する様々な現代の課題を解決するために、社会教育の視点を通して、生涯学習社会の実現を目指しています。

生涯学習社会を実現するためには、学校教育や家庭教育とともに、社会教育を通して生涯にわたって学習していくということが重要となります。

③ 計画策定の背景

生涯学習を取り巻く社会経済情勢の変化

- 未曾有の少子高齢・人口減少社会
- 貧困と格差の問題
- 情報環境の変化
- 持続可能な開発目標（SDGs）の実現
- 雇用環境の変化
- 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響
- 人生100年時代の到来
- 家庭教育の困難化
- 社会のつながりの希薄化
- 地域とともにある学校づくりの推進
- 外国人県民の増加による課題

④ 計画の趣旨

本計画は、生涯学習の推進に関係する様々な主体に期待される役割を示すとともに、本県生涯学習施策体系の整理とこれに沿った主要事業の内容を明らかにするものです。

⑤ 本県の特徴

① 大学等高等教育機関の集積

多数の大学等高等教育機関が集積し、それぞれの特徴を生かした公開講座の開催や社会人の受入れなど、生涯学習に関連した活動を展開しています。

② 企業の積極的な地域貢献活動

企業が積極的に地域貢献を実施し、文化施設の設置や家庭教育を支援する職場環境づくり等、生涯学習に関わる支援を展開しています。

③ 持続可能な社会づくりに向けた活発な取組

愛・地球博や生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）、持続可能な開発のための教育（E

SD)に関するユネスコ世界会議の開催を通じ、持続可能な社会づくりに向けた活動を続けており、ユネスコスクールの加盟・申請校数は全国1位の160校となっています。

④ 外国人に対する日本語学習支援事業等の取組

日本語指導が必要な児童生徒が全国で最も多く、自治体やNPO等の団体が主体となって、日本語学習支援などの様々な活動を展開しています。

⑥ 計画の期間

2023年度から2027年度まで（5か年）

⑦ 基本理念

「自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会」を実現していきます。

誰もが、いつでも、どこでも、誰とでも、自分らしく学ぶことができ、誰一人取り残されず、多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる「ウェルビーイング」を実現させる未来が望まれます。

⑧ 基本理念を実現するための3本の柱とそれを支える生涯学習推進体制づくり

3本の柱を設定し、総合的な推進を進めるとともに、3本の柱を支える生涯学習を推進する体制づくりに取り組みます。

第1の柱 自己を高め、豊かに生きる生涯学習

第2の柱 人をつなぎ、地域をつくる生涯学習

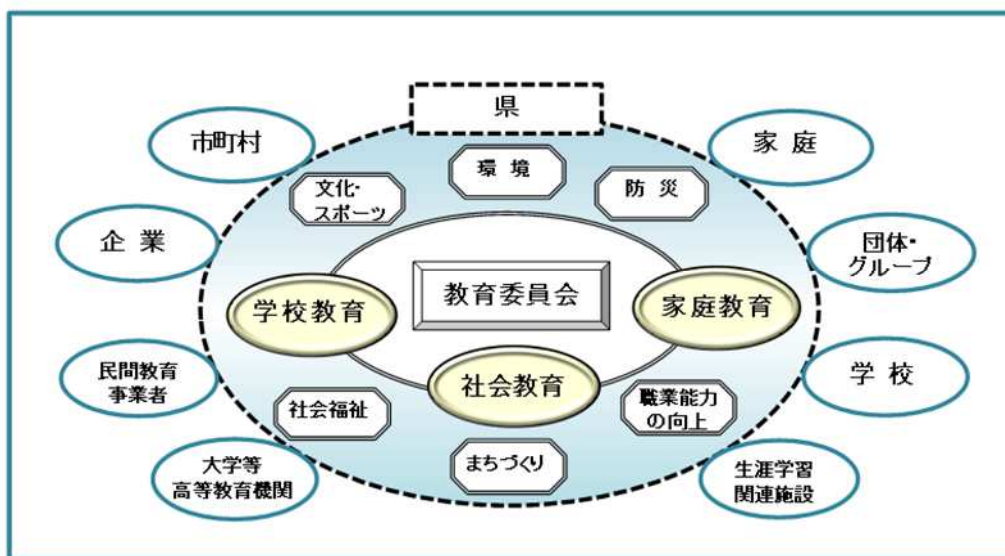
第3の柱 未来を築く生涯学習

加えて、3本の柱を支える
生涯学習推進体制づくり

⑨ 計画の目標

基本理念の実現を図るため、計画期間において達成すべき具体的な目標（全体目標・個別目標）を設定します。

⑩ 本計画における生涯学習推進のイメージ図



県において、学校教育、家庭教育、社会教育を担う教育委員会の施策及び知事部局の所管する、文化・スポーツ、環境、防災、職業能力の向上、まちづくりなどの生涯学習関連施策を総合的かつ効果的に実施するとともに、市町村、家庭、団体・グループ、学校等の各主体と連携・協働しながら、本県の生涯学習を推進していくことをイメージしたもの

第2章 生涯学習に関わる各主体に期待される役割

生涯学習の推進は、行政機関だけでなく、家庭、団体・グループ、学校、生涯学習関連施設、大学等高等教育機関、民間教育事業者、企業といった主体によって担われています。第2章では各主体がそれぞれの特性を十分に発揮し、連携・協働することにより、本県生涯学習の一層の推進が図られるよう、各主体に期待される役割等を明らかにします。

- ① 家庭
 - 家庭の在り方について家庭内で議論したり、学んだりすること
 - 家庭教育に困難を伴っている家庭においては、県や市町村などの相談窓口への相談、訪問型の相談支援の活用
 - **積極的に地域や隣近所と付き合い、地域全体でお互いの家庭を助け、協働して生活をつくっていきける環境づくり**
- ② 団体・グループ
 - **従来の地縁団体からなる支援組織や、市民活動団体などの連携による地域課題の共有や解決に向けた取組の推進**
 - 高齢者が地域で活動できる多様な機会の創出
 - 多様な地域人材で構成するチームによる、家庭への学びの機会を提供するアウトリーチ型の支援
- ③ 学校
 - 地域と教育目標やビジョンを共有して一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」の役割
 - 福祉局等との連携による**誰一人取り残さない、切れ目のない支援**
 - 生徒や保護者の負担に十分配慮しつつ持続可能な活動環境を整備するなど、学校部活動の速やかな改革の取組
- ④ 生涯学習関連施設
 - 公民館と学校が連携し、地域の課題解決等にあたる「あてにし、あてにされる関係」の構築
 - 多様な主体の連携・協働による学びの講座の提供
- ⑤ 大学等高等教育機関
 - 職業人のキャリアアップ、高齢者の社会参画、若者の就業能力の向上など、社会人や高齢者、若者等の学習ニーズに対応した講座・コースの設定
 - 実務家教員等、コーディネーター役となる人材の育成等、**社会人の学び直し（リカレント教育）の支援**
- ⑥ 民間教育事業者
 - 独自の発想による、高度で多様化する県民の学習ニーズに対応する特色ある学習機会の提供
 - 放送事業者による幅広い情報提供及び通信・放送技術を活用した生涯学習の機会提供
 - フリースクールなど、**困難を抱えた子どもの居場所づくりの提供と社会的自立の支援**
- ⑦ 企業
 - ワーク・ライフ・バランスの推進及び地域活動への興味関心を高める講習や研修の実施
- ⑧ 市町村
 - 社会教育士の設置
 - 住民の学習成果を生かす場の積極的な提供、活動する側と受け入れる側をつなぐコーディネーターの養成等
- ⑨ 県
 - 生涯学習情報システム「学びネットあいち」の改良による学習者の利便性の向上
 - **関係部局、関係機関との連携促進及び県民がより充実した学習活動を行い、地域の課題解決に貢献できる環境整備についての各主体への働きかけ**

第3章 県の生涯学習施策の展開

計画の基本理念を実現するためには、県の市町村をまたぐ広域的な施策の展開や、先進的な研究、市町村や団体等の活動への支援、協働などが求められます。

そこで第3章では、社会経済情勢の変化に的確に対応できるよう、3本の柱に沿って県の生涯学習施策を展開します。

1 自己を高め、豊かに生きる生涯学習

(1) 豊かな人間性と生きる力を育む学校教育・仕組みづくりの充実

生きる力の育成、多様な学びを保障する学校づくり、困難を抱えた児童生徒等への多様な学びを保障する仕組みづくり など

(2) 健康づくり・スポーツ活動の促進

「あいち健康プラザ」等による健康づくりの支援・指導者の育成、「愛知県社会福祉協議会福祉生きがいセンター」における高齢者の生きがいと健康づくり、「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知」の開催と支援、「アジア競技大会、アジアパラ競技大会」を契機としたボランティア文化の成熟・定着 など

(3) 食育の推進

「食育ネットあいち」による情報発信、食育推進ボランティアの活動支援、学校、家庭への食育の啓発 など

(4) 文化芸術の振興

国際芸術祭の開催、アートフェスタの開催（高校生の文化活動の発表の場の提供）、障害のある人の芸術活動支援、伝統芸能の保存・伝承への支援、図書館、美術館、博物館等を活用した「ふるさと愛知」の学習機会の充実、子供読書活動の推進 など

(5) 「ものづくり」の継承と発展

ものづくり愛知の未来を担う科学技術人材の育成、技能五輪・アビリンピックの開催を通じたモノづくり人材の育成、次代の航空機産業の担い手の育成、あいちSTEM教育の推進 など

(6) 職業能力の向上

職業訓練の支援、専門高校生の職業能力の向上の推進、新規就農者等の育成、農業大学校の研修の充実 など

(7) 若者等に対する職業意識・職業観の醸成

キャリア教育の推進、起業家精神の育成、若年求職者への就職支援、就職氷河期世代への就職支援 など

(8) 社会人等の学び直しの推進

県立大学における学び直しの推進、学び直し（リカレント）の普及啓発、公開講座等の学習情報の発信 など

2 人をつなぎ、地域をつくる生涯学習

(1) 地域学校協働活動の推進

地域と学校の連携・協働による教育活動の推進、県立学校と地域をつなぐコーディネーターの配置、コンソーシアム、コミュニティスクールの設置、保護者への学習機会の提供、**部活動の円滑な地域移行** など

(2) 高齢期の学びと社会参加活動の促進

「あいちシルバーカレッジ」の開催、公民館活動の活性化支援、老人クラブ活動の推進 など

(3) 家庭教育の充実と子育て支援

家庭教育支援チームの設置促進、子育てネットワーカーの養成、子供の生活支援・就労支援、父親の育児参加の促進、生活困窮世帯・ひとり親家庭等の子供への支援 など

(4) 青少年の健全育成

「子ども・若者総合相談センター」の市町村の設置促進及び機能向上、経済的に困難な状況にある子供・若者や外国人児童生徒の学習支援、青少年の非行・被害防止、少年の立ち直り支援、規範意識の向上 など

(5) 人材・団体の育成と調査・研究の推進

生涯学習に携わる職員の専門性向上、地域のコーディネーターとなる人材の育成、ボランティアの活用 など

(6) 安全・安心な生活の確立

基幹的広域防災拠点での人材育成、防犯ボランティアの養成・支援、消費者教育の推進 など

3 未来を築く生涯学習

(1) 持続可能な開発のための教育（ESD）の推進

ユネスコスクールの交流支援、ESDの理念の普及啓発 など

(2) 環境学習・環境活動の推進

あいち環境学習プラザ、もりの学舎における環境学習機会の提供、エコ モビリティ ライフの推進、希少種・外来種に関する普及啓発等、三河湾の環境再生に向けた取組、食品ロス削減の推進 など

(3) 人権意識の啓発

人権に関する指導者向けの研修の実施、学習機会の提供、人権意識・啓発活動の推進 など

(4) 男女共同参画社会の形成

男女共同参画に関する学習機会の提供、女性の活躍促進、ワーク・ライフ・バランスの推進、女性の農業従事者の活躍場所の拡大 など

(5) 多文化共生社会の推進

多文化共生社会の形成による地域づくりの推進、日本語教室の人材育成、学校における外国人児童生徒への支援 など

(6) 障害の有無にかかわらず共生社会づくり

支援者の育成、スポーツ活動の推進、就労支援強化、障害の有無にかかわらず学習環境の整備 など

4 生涯学習推進体制づくり

(1) 生涯学習推進体制の充実

県関係部局による横断的な組織である生涯学習推進本部の設置による総合的な推進、生涯学習審議会等の開催

(2) 学習情報の提供と相談体制の充実

「学びネットあいち」による情報提供機能の充実、情報誌「まなびいあいち」の配布・配信 など

(3) 生涯学習関連施設の充実

愛知県図書館、美浜自然の家、旭高原自然の家、野外教育センター、愛知県美術館、愛知県陶磁美術館、あいち朝日遺跡ミュージアムにおける生涯学習関連施策の充実 など

数 値 目 標

① 全体目標

○ この1年間に「生涯学習」をした人の割合

この1年間に「生涯学習」をした人の割合について、2027年度までに10%増加の70%を目指します（2021年度60.1%）

※「生涯学習」とは、「趣味・教養的なもの」「健康に関することやスポーツ」「職業上必要な知識・技能」「まちづくり、地域づくりに関すること」「ボランティア活動、NPO活動やそのために必要な知識・技術」「育児、教育や家庭生活に役立つ技能」「学校の正規課程での学習」「自然体験や生活体験などの体験活動」を指す（2021年度 県政世論調査より）。

② 個別目標

体系別/項目名	現況		目標		所管	
	年度	数値	年度	数値		
1 自己を高め、豊かに生きる生涯学習						
(1)	全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒割合	2021	小 77.2% 中 77.2%	毎年度	前回調査を上回る	教育委員会
	・小中学校、高等学校、特別支援学校におけるスクールカウンセラーの相談時間数（小中学校）、配置人数（高等学校、特別支援学校） ・小中学校、高等学校、特別支援学校におけるスクールソーシャルワーカーの配置人数 新規	2021	SC：小中 103,089時間 高 58人 特 2人 SSW：小中90人 高 9人 特 2人	毎年度	増加	教育委員会
(2)	週1回のスポーツ実施率（成人、障害者） 新規	2021	20歳以上：56.3% 障害者：23.0%	2026	20歳以上：70.0% 障害者：40.0%	スポーツ局
(3)	食育推進ボランティアから食育を学んだ人数 新規	2021	2.7万人	2025	12万人以上	農業水産局
(4)	県文化施設への来場者数（愛知芸術文化センター（栄施設）、県図書館、県陶磁美術館、あいち朝日遺跡ミュージアムの合計） 新規	2021	156.8万人	毎年度	270万人以上	県民文化局
(5)	2024、2025年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックにおける愛知県国際展示場への来場者数	2019	187,470人	2024 2025	2023大会来場者目標（2019展示場1日目） 77,000	労働局
(6)	愛知県職業能力開発協会が行う訓練の受講生数	2021	1,081人	毎年度	1,600人	労働局
	大学等高等教育機関における公開講座の開催数	2021	1,163講座	毎年度	前年度を上回る	教育委員会
(7)	ヤング・ジョブ・あいちの利用者の就職者数 新規	2022	4,748人	2027	5,959人	労働局
(8)	リカレントフォーラムの参加者数 新規	2022	会場参加26名 オンライン140名	毎年度	前年度を上回る	教育委員会
	若者・外国人未来応援事業の受講者数 新規	2021	延べ1,886人	2027	2,500人	教育委員会

体系別/項目名		現況		目標		所管
		年度	数値	年度	数値	
2 人をつなぎ、地域をつくる生涯学習						
(1)	コミュニティ・スクールを導入している小中学校数 新規	2022	小：199校 中：92校 高：3校 特：3校	毎年度	前年度を上回る	教育委員会
(2)	あいちシルバーカレッジ及びあいちシルバーカレッジ専門コースの年間受講者数	2021	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	毎年度	660人	福祉局
(3)	放課後・土曜日等の教育活動の実施市町村数 新規	2022	28市町村	2027	全市町村	教育委員会
(4)	子ども・若者支援助地域協議会を利用できる子ども・若者の割合	2022	73.4%	2027	80%	県民文化局
(6)	実効性を高めるために、危機管理マニュアルの見直しを実施した学校や、地域の防災課題に応じた防災・避難訓練等を実施した学校の割合 新規	2019	見直し実施：97.1% 避難訓練等：95.7%	毎年度	見直し実施：100% 避難訓練等：100%	教育委員会
3 未来を築く生涯学習						
(1)	ユネスコスクール交流会への参加人数 新規	2021	131名	毎年度	200人以上	教育委員会
(2)	あいち環境塾（基礎コース）の参加人数	2022	23人	毎年度	20人	環境局
(3)	人権啓発イベントの参加により、人権を尊重するきっかけとなったと思う人の割合	2022	98.0%	毎年度	90%以上	県民文化局
(4)	女性の活躍促進宣言企業宣言企業数 新規	2022	2,455社	2025	2,700社	県民文化局
(5)	日本語教育適応学級担当教員の数 新規	2022	547人	毎年度	外国人児童生徒数等に応じた適正配置	教育委員会
	外国人のプレスクール実施市町村数	2022	16市町村	毎年度	増加	県民文化局 教育委員会
(6)	手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成講習修了見込者数	2021	手話通訳者：0人 要約筆記者：14人 盲ろう者向け通訳・介助員：6人	毎年度	各40人	福祉局
4 生涯学習推進体制づくり						
(2)	生涯学習情報システム「学びネットあいち」トップページのアクセス件数	2021	128,002件	毎年度	前年度を上回る	教育委員会
	生涯学習情報システム「学びネットあいち」新規登録情報提供機関数	2021	21件	毎年度	24機関	教育委員会
	公民館主事等社会教育担当者研修会の参加者の満足度	2022	97.4%	毎年度	95%以上	教育委員会
	地域指導者の養成数	2022	298人（実人数）	毎年度	前年度を上回る	教育委員会

※この表の番号は、第3章に示した生涯学習施策の3本の基本的な柱と、それを支える生涯学習推進体制づくりに付随する施策の展開方向の番号に対応します。

※現況は、本計画策定時の最新データです。

あいち学び未来応援プラン2027

(第3期生涯学習推進計画)

～自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会～

2023年3月 愛知県

愛知県教育委員会生涯学習課

〒460-8534

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話：052-954-6781（ダイヤルイン）

FAX：052-954-6962

メール：syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp

ホームページ：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/syogaigakushu/>
